

第2回

## 希少種を守る犬?

～マングース探索犬の活躍～

外来種であるマングースは、ハブやノネズミの駆除を目的として、1910年に沖縄本島へ持ち込まれましたが、その後、ヤンバル地域において、マングースが希少動物を捕食していることが確認されるなど、生態系への悪影響が懸念されています。

県は、ヤンバル地域へのマングース侵入を阻止するため、北上防止柵を整備するとともに、防止柵の北側に生息するマングースに対しては、ワナを設置し、捕獲を行っています。

県が捕獲を開始した平成12年度以降、捕獲されたマングースの数は5,000頭を超え、年間捕獲数も年々減少していることから、今後は、より効率的なワナの設置や、警戒心の強い個体をどう捕獲していくかが課題となっています。

その対策の一つとして期待されるのが探索犬です。探索犬には、糞を探索するものとマングース個体を探索するものの2種類があります。

糞の探索犬は、効率的なワナの設置を可能にします。また、個体の探索犬は、見つけた個体を逃げ場のない土穴や樹洞に追い込んでいくことから、人による直接捕獲を可能にします(犬には口輪をしており、マングースを直接噛むことはありません)。

現在、県内には、糞の探索犬2頭とマングース個体の探索犬2頭の計4頭が活躍しており、昨年度の捕獲数は、全体の5分の1を占めるなど、その効果をあげていることから、新たに3頭の育成を行っています。

探索犬は、ヤンバル地域での希少種を守るため、日々、山の中を駆け回って活躍しています。



お問い合わせ | 県自然保護・緑化推進課 電話：098-866-2243

広告

## 離島の暮らしがより便利に!より身近に!

～離島交通ネットワークの強化～



離島住民にとって、生活の足となる船や飛行機は重要な交通手段です。しかし、船や飛行機の維持費や、老朽化によって新たに購入する場合、事業者にとって大きな負担となります。また、利用する際の運賃は、離島住民の生活費にも影響します。そこで県は、離島住民の生活がより便利になるよう、様々な支援事業を行っています。



### ①離島航路(船舶)に対する支援

県は、離島航路を運航する船舶の老朽化に伴い、新しい船を導入するため、事業者へ補助金の交付を行っています。今年度は座間味村等に補助金を交付することが決定しており、平成33年度までに、離島16航路について支援していく予定です。

これまで、補助金を活用して、伊平屋航路の「フェリーいへやⅢ」(H26.4月就航)、与那国航路の「フェリーよなくに」(H26.7月就航)が建造されました。



与那国を就航する「フェリーよなくに」



粟国を就航する予定の「ツインオッター」

### ②離島航空路(飛行機)に対する支援

廃止となった石垣-波照間路線、石垣-多良間路線について、県、関係市町村、航空事業者が連携し、平成27年秋頃の再開に向けて、空港の整備等を行っています。

昨年度は、粟国-那覇を就航する飛行機の老朽化に伴う機材更新の他、上記路線の再開に必要な飛行機の確保のため、航空事業者に対し補助金を交付しました。

### ③交通コストの負担軽減

離島住民は、市町村が発行している「離島住民カード(沖縄県離島住民割引運賃カード)」を提示することで、船や飛行機に乗るときに、割引運賃が適用されます。

また、8航空路線(\*)は、離島観光を気軽に楽しんでもらえるよう、離島住民以外の県民や観光客も3割引(久米島-那覇のみ1.5割引)の運賃で利用することができます。

(\*)右ポスター画像中の①～⑧路線

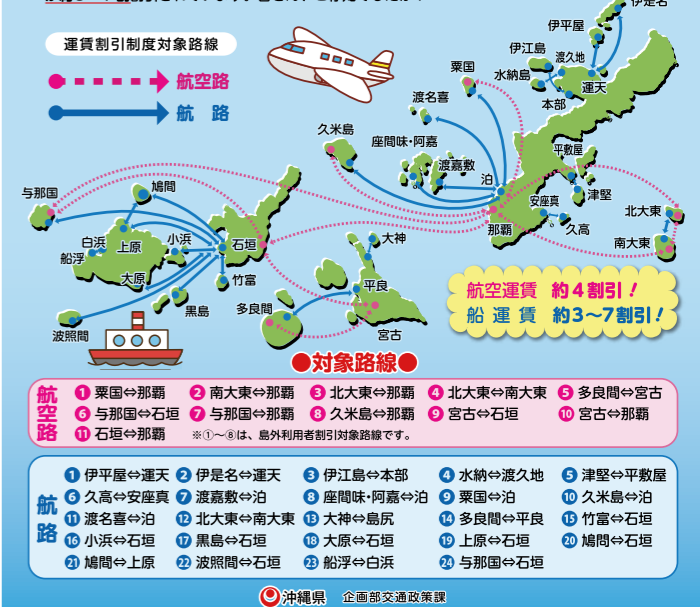
### 離島住民カードの発行手続きはお済みですか?

離島に住民登録している方等でまだカードを持っていない、または更新していない方は、市町村の担当窓口に必要な書類を確認のうえ手続きを行いましょ。

例えば 伊平屋島の島民がカードを利用してフェリーに乗る場合  
(往復運賃)  
4,150円 → **1,510円** 約**63%**が割引されます。

一括交付金でここまで便利になりました!!

県の補助で、離島航空路・航路の運賃が割引されています!  
沖縄県では、平成24年4月より離島へのアクセス向上を目的として、運賃負担の大きい離島航空路・航路に対する運賃補助事業(沖縄離島住民等交通コスト負担軽減事業)を行っています(国からの一括交付金を活用)。この事業によって、以下の11航空路の運賃が約4割、24航路の運賃が約3～7割割引されています。皆さん、ご存知でしたか?



(広報用ポスター 平成27年4月現在)

お問い合わせ | 県交通政策課 電話：098-866-2045 FAX：098-866-2448